

プローブタック試験

概要

円柱状プローブを試験体に接触させ、剥離するとき生じるタック性(瞬間的な粘着力)を評価する。

試験法

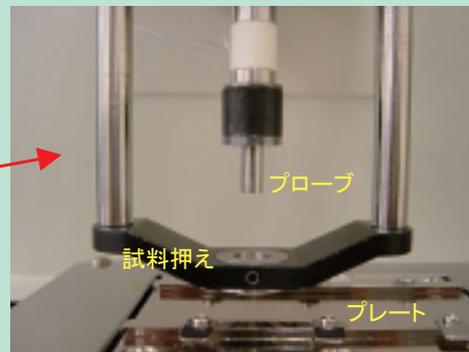
| 試験条件 | 試験片 | 得られるデータ |
|---|-----------------------------|---|
| 直径5mmφステンレス製(プローブ) 進入速度: 1、2.5、5、30、120mm/min 加圧力: 10~600g 加圧時間: 0.1~60.0sec 引離し速度: 2.5、5、30、120、600mm/min 温度: 23~200°C (プローブ・プレート温度の変更による) | フィルム・シート (3mm以下) n=10 | Peak Value (gf) Integral Value (gf・sec) (積分値) など |

装置概要

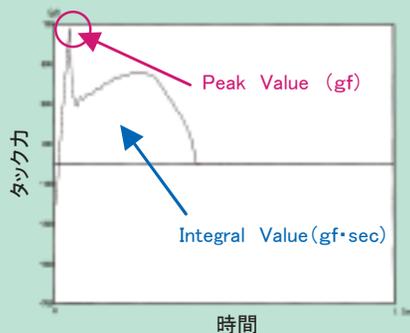
試験機本体



測定部拡大



測定例



何が分かるか

材料のべたつきそのものの粘着力を測定しているので数値化することによりべたつきの挙動がわかる

試料例

- 粘着テープ
- 保護フィルムなどの粘着性物質

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

お問合せ ☎ 03-5524-3851